建築人

2021
12

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.690

建築人

2021.12 No.690
Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「高槻の家」2019年

第13回 建築人賞 建築人賞奨励賞 受賞作品
設計：大西憲司設計工房
施工：西友建設
撮影：福澤昭嘉

交通量の多い大通りに面した敷地に、交通騒音対策をした母親と夫婦・子供の3世代同居の住宅。飾られた趣味の写真や絵と共に、大小散りばめて配された庭と、内外が一体となった気持ちの良い空間が広がる。それぞれの部屋に面した庭から日が射込み、風が通り抜け、緑と自然を心地良く感じられる。

2 大阪ここちエエ
4 Gallery 建築作品紹介
「ひかりの子保育園」
設計：アバクス・アーキテクツ
施工：トータルトーク
「在日大韓基督教 神戸教会」
設計・監理：A＆U建築企画一級建築士事務所
施工：三田工務店
「古野電気新研究開発棟 SOUTH WING」
設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
「4棟の家」
設計：コンパス建築工房
施工：ケイ・アイ・エス
「吹田市立健都ライブラリー」
基本設計：三弘建築事務所
実施設計・監理：徳岡設計
施工：大鉄・ビック特定建設工事共同企業体
10 動静レポート
11 Topics
12 インフォメーション・事業案内
14 記憶の建築
「MIDビル」1954年
前川國男の戦後の活動拠点と柳宗理のアトリエ / 松隈 洋

大阪ここちエエ

写真 田籠哲也　文 牧野隆義

大阪の中心部から車で30分ほどのところに自然豊かな国定公園とその中に心奪われる荘厳な滝がある。今回は、箕面市の北側に位置し、例年であれば年間200万人以上の観光客が訪れる景勝地である、「明治の森箕面国定公園・箕面の滝」を取り上げる。
箕面の山は、古くから山岳仏教の聖地として信仰され、役行者が開いたという修験道などの古刹もみられる。標高は凡そ100～600mで北部山地に広がる自然公園で、明治百年記念事業のひとつとして1967年に国定公園に指定された。この滝の巾は5mで、落差は33mに及び、この滝から森林を縫うような渓谷となっており、980種もの植物や3000種を超える昆虫が生息している。それ以外にも野鳥や哺乳動物、両生・爬虫類、魚類なども生息しており、今となっては大変貴重な自然の森であるとともに、四季折々の景観を楽しむことができる。
箕面山では1955年に、ニホンザルの研究と観光を目的に箕面山自然動物公園を開園した。都市近郊でニホンザルの生態などを観察できることは貴重で天然記念物として指定を受けた。しかし、餌付けされ人に慣れたサルによる被害が増大し社会問題となった。問題解決のために自然動物園を閉園し、様々な調査を行い、餌場移動実験など様々な改善を図り、人とサルとの距離は離れつつある。
この美しい自然環境を互いに共有するためにも、まだまだ取組むべき課題があるように思える。

建築人 No.690 2021年12月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部
部門長：飯田英二
委員長：荻窪伸彦（編集人代表）
編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章 武藤優哉 若江直生
事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和3年12月1日発行
発行人：会長／岡本森廣
発行所：公益社団法人大阪府建築士会
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F
tel. 06-6947-1961

ひかりの子保育園

設計：アバクス・アーキテクツ
施工：トータルトーク

幼稚園に隣接する住宅跡地に木造の小規模保育施設を新築しました。1階は保育所、2階は多目的室を設けています。園児を送り迎えするバスが幼稚園の園庭に毎日入っていることから、新しい敷地にバスの昇降口と園児の待機所を兼ねたスペースを確保することを求められました。そのため保育所の平面はバスの軌跡を考慮して円弧を描いています。また、JRの鉄道敷きに面することから子供たちのお昼寝を妨げないよう少しでも防音性を高めるために一番内側に廊下を配置しています。子供たちは木に囲まれた温かい空間で一日を過ごし、木製サッシからこぼれてくる光が子供たちを迎えに来られる親たちを優しく出迎えます。

（栄　隆志）

所 在 地：大阪府交野市
用　　途：保育所
竣　　工：2021.06
構造規模：木造 地上2階
敷地面積：299.04㎡
建築面積：156.08㎡
延床面積：195.10㎡
写　　真：笹倉洋平

在日大韓基督教 神戸教会

設計・監理：A＆U建築企画一級建築士事務所
施　　工：三田工務店

敷地はJR兵庫駅～新長田駅の中ほどに位置し、国道43号線にも近接した交通至便な場所にある。
今般、100周年記念事業として、新しく建て替えられる計画となった。
神戸教会の長い歴史、景観を踏まえ、設計コンセプトとしては垣間見られる三角屋根、赤レンガ様式ではなく、地域の人々、又多くの教会員にもっと親しみ感のもてる美術館のような教会建築を意図した。
そして夕暮れ時、乳白のガラスブロック十字が教会のシンボルとして静かに自動点滅する。

所 在 地：兵庫県神戸市
用　　途：教会
竣　　工：2021.10
構造規模：鉄骨造 2階建
敷地面積：544.06㎡
建築面積：365.78㎡
延床面積：683.80㎡
写　　真：古池基二

古野電気新研究開発棟 SOUTH WING

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店

魚群探知機のパイオニアとして知られる船舶用電子機器メーカーの新しい研究開発拠点の計画である。
複数の建屋に分散していた研究開発者500人強が集まり、新しい創造が生まれる場が求められた。
建物形状は面積効率が最も高い正方形平面とし、外周部に執務スペース、中央部にオープンな直通階段、会議室などを集約したセンターコアプランとした。コアは大きく4つに分割して風車状に配置し、会議室は腰壁のあるガラススクリーンとすることで、開放的で人と情報が行き交うオープンなセンターコアが実現した。

（桑原悠樹）

所在地：兵庫県西宮市
用　途：事務所
竣　工：2021.09
構造規模：鉄骨造 5階
敷地面積：3,980.12㎡
建築面積：2,291.04㎡
延床面積：8,579.25㎡
写　真：竹中工務店

4棟の家

設計：コンパス建築工房
施工：ケイ・アイ・エス

ゆとりある敷地の中で、建築ボリュームを4つに分け、建物や塀の間から緑があふれる建築とした。リビング、寝室、車庫、ゲストルームを4棟の切妻建物に分散配置し、それらの間を庭やテラスとすることにより、建物のどこからも様々な景色を楽しむことができ、セキュリティやプライバシーを確保しながらも、明るく風通しの良い空間となっている。建物の要所に、以前の家の大黒柱や敷台、丸太梁、杉天井板、欄間、書院障子、落とし掛けなどを再利用し、外構においても庭石や井戸側、松の木などを再配置した。生まれ育った旧宅の記憶を引き継ぎながら、これからの生活に向けて、安心・安全な基本性能と自然環境を享受する住宅が実現した。

所 在 地：大阪府堺市
用　　途：専用住宅
竣　　工：2021.05
構造規模：木造 2階建
敷地面積：482.86㎡
建築面積：232.69㎡
延床面積：259.26㎡
写　　真：岡田大次郎

Gallery

吹田市立健都ライブラリー

基　本　設　計：三弘建築事務所
実施設計・監理：徳岡設計
施　　工：大鉄・ビック特定建設工事共同企業体

健都ライブラリーは、市民のサードプレイスとしてレールサイド公園と一体的に整備され、「気づき」「楽しみ」「学べる」というコンセプトのもと「生涯活躍のまち」としての新しい吹田市のまちづくりを体現している。四方に視界が広がる2層の床とカーテンウォールの透明感ある構成で、空間のグラデーションと視線の繋がり、それぞれの空間の目的に応じた光のコントロール、空間のスケールや形状・素材により利用に応じた心地良い居場所づくりに配慮した。健康増進広場と繋がる大階段は、ギャラリーのベンチとしての役割を持ち、吹田メモリアルの0系新幹線を望みつつ2階の開架室へと利用者を誘い、また冗長性をもたせた深い軒下空間は「まちのにぎわいづくり」を促進させる交流の場としている。

所 在 地：大阪府吹田市
用　　途：図書館
竣　　工：2020.08
構造規模：S造 2階建
敷地面積：11,198.63㎡
建築面積：1,444.01㎡
延床面積：1,877.76㎡
写　　真：松村芳治

動静レポート

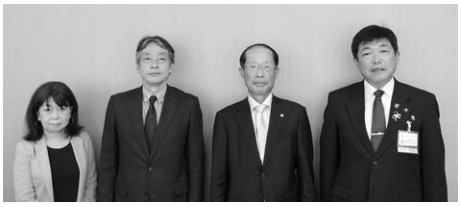
本会は運営、研修、事業、建築表彰、建築情報、社会貢献の6つの部門により活動しています。

会長動静

10/26　大阪府収用委員会
11/ 1　在阪建築 15 団体午餐会
11/ 4　吹田市長面談
11/ 5　大東市長面談
11/ 9　大阪府収用委員会
11/10　高石市長面談
11/12　羽曳野市長面談
　　大阪府中小建設業協会振興大会
　　運営部門会議
11/17　松原市面談
　　理事会、正副会長会議
11/18　日本損害鑑定協会会議
11/19　日本建築士会連合会理事会
11/20　建築士会全国大会
　　環境部会発表：SDGs アクション
11/22　大阪府収用委員会
11/24　貝塚市長面談
　　近畿会長会議
　　近畿建築士会協議会
11/25　泉大津市長面談

会長による府内市町村長との面談

左より上田副会長、岡本会長、後藤圭二吹田市長、小林委員



左より竹田理事、濵田副会長、岡本会長、東坂浩一大東市長

左より濵田副会長、岡本会長、福井淳太高石市副市長、北野委員

左より濵田副会長、岡本会長、山入端創羽曳野市長、山本委員

左より濵田副会長、岡本会長、大島久幸松原市都市整備部長、成瀬孝之松原市まちづくり推進課長

左より濵田副会長、岡本会長、藤原龍男貝塚市長、木村委員、山添専務理事、小川文章貝塚市副市長

左より山添専務理事、田中副会長、南出賢一泉大津市長、岡本会長、北條委員

11 月度　理事会報告

(1) 入退会の承認

（人）	10 月	入会	退会等
正 会 員	2,423	1	4
準 会 員	38	1	0
特準会員	27	0	0
賛助会員	138	0	1
計	2,626	2	5

(2) 会計報告

（円）	10 月計	累計
収入	4,895,465	80,869,370
支出	11,056,794	71,482,417
差引	△ 6,161,329	9,386,953

上表の当期経常増減明細を承認しました。

緊急事態宣言の解除で、特に研修系の延期事業が下期に集中して実施されているが、前年同期に比して収支差引が約 350 万円の減少となり、年度末に向けて一層の活性化を実行しなければ財政維持が厳しい状況を報告しました。
また、事業実施に際して、企画内容や開催日の重複等を避けるため、全部門共有のイベントカレンダーの案を情報部門で検討することとしました。

(3) Gallery 掲載要項
「建築人」掲載作品の募集要項で、掲載費用の初回割引、若手割引をそれぞれ設け、『建築人賞』の PR とともに、作品募集を強化する方策を承認しました。

(4) 総合資格の専用ラックの契約更新
本会事務局前の総合資格専用ラック設置の契約費用を 10 万円／年に変更要望があり、コロナ禍も影響した事情を鑑み承認しました。

日本建築士会連合会の会長表彰及び伝統技能者表彰を受賞

令和 3 年の日本建築士会連合会から第 64 回建築士会全国大会にあたり、建築士制度の発展と社会公共の福祉増進に寄与したとして、連合会会長表彰に理事の沼田亘氏、仙入洋氏、平井浩之氏、岩岸克浩氏、伝統的技能者表彰に鳥羽瀬公二氏が受賞いたしました。

令和 3 年忘年懇親会及び令和 4 年新年交礼会の中止が決定

在阪 4 団体による忘年懇親会および在阪 15 団体による新年交礼会について、コロナ禍の状況を鑑み、毎年恒例となっている両行事の開催について、それぞれ幹事団体の主導により協議を行いました。その結果、各団体ともに大規模な参集による感染リスクを避けるために、いずれの行事も中止することと決定しました。
会員各位におかれましては、年末年始恒例の大切な団体交流の行事ではありますが、諸事情をご高察のうえ、ご理解賜りますようお願いいたします。

Topics

「泉南ロングパーク見学会」

日時：令和3年11月11日（木）
会場：SORA RINKU ミーティングルーム2
参加者：26名

藤江雅文（地域まちづくり委員会担当理事）

現在のコロナ禍の中で我々ができることは何かと「建築士の会いずみ野」メンバーで試行錯誤を重ね、開催時期を幾度となく調整し、さらに当日のシュミレーションを行って開催に至りました。安全に配慮して、人が密集しない平日の昼間という開催となりましたが、予定人数を上回る参加者にて無事行うことができしました。

りんくうタウン海沿いに面するりんくう公園は、関西国際空港開業に合わせて埋立地に整備され、海浜部における交流レクリエーション拠点として重要な立地環境であるにも関わらず、20年以上、手付かずの状態になっていたこの場所において、国土交通省都市局 公園緑地・景観課が推進する「Park-PFI」制度を活用され、そして本施設のみならず大阪城公園や花博記念公園などに同様の施設を展開する、大和リース株式会社様が携わられました。その設計担当の方を招いて実現に至った経緯やノウハウ、建設後の運営などについて講演いただきました。

「Park-PFI」制度（公募設置管理制度）とは、都市公園の魅力と利便性の向上を図るために、公園の整備を行う民間の事業者を公募し選定する制度です。都市公園に民間のノウハウを活用することで、カフェやショップなどの集客施設や、保育所やデイサービスセンターなど、地域の人が集う施設が続々と生まれています。

講演後には、小雨の中でしたが、実際にパーク内の施設を見学しながら解説等していただきました。見学会すべてにおいて非常に丁寧な説明をしていただき、大変有意義な時間でした。そして個人的には、今後の地域活性において必要不可欠であると実感できました。

「次世代美術館建築 藤田美術館見学会＋説明会」

日程：令和3年11月16日（火）
会場：藤田美術館
参加者：50名

守安一平（研修委員会 構造・施工担当委員）

新型コロナの影響により延期され、ようやく開催されました藤田美術館見学会です。「次世代美術館」とは何かを知るために参加しました。印象に残ったことを報告します。

藤田美術館は、幕末明治から大正期にかけて活躍した実業家・藤田傳三郎の収集物を所蔵する美術館で1954年開館しています。建物の老朽化に伴い今後も末永く沢山の国宝や重要文化財を守るため、既存の展示室と収蔵庫2つを解体しこの度建て替えられました。新しい建物には、随所に旧建物から移設品を見ることができます。展示室入口の蔵前扉、展示室やギャラリーのフローリング、ギャラリーに設置された鎧戸、庭木、庭石等々。これらは設置するための最低限の加工を除き、既存のままの状態で設置されています。また移設利用に先立ち、設計施工を請け負った大成建設専門部署による入念な建物と史料調査が行われています。伝統建築物に対する同社の姿勢が伺えました。一方建築計画では、誰もがふらっと立ち入れる視覚的に外部に解放された「土間」は、隣接する広間「時雨亭」を舞台にした行事も可能で、文化情報を発信する場として、また地域活性を担う場として期待されています。また広い同エリアと平行に左官職人の久住直生さん施工の漆喰の壁「大壁」があります。ほんまもんの現代の技術を見て触れることができます。展示室先のギャラリー西側には、大正期に高野山から譲り受けた多宝塔を少し見上げて眼前できます。この位置まで曳家し、山腹の庭にある高野山の多宝塔を現地確認して再現したそうです。ここから「土間」までの庭は背後にある公園を借景し奥域を感じられる庭となっています。

開館当初からオーナーの藤田家が掲げる「誰もが見てふれて感じられる美術館」を主コンセプトに、設計者が藤田美術館の歴史を設計ストーリーに見事に取り込んで計画された建物でした。「次世代美術館」＝「次世代につなげていく美術館」というオーナーの思いの通り、末永く繋がっていくと感じました。また個人的には藤田美術館を知る良い機会となりました。

藤田美術館外観

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。
感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。
本年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。
スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご活用ください。
（業務内容）
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画案の審査、評価　等
（対象建築物）
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
（会員特典）
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和3年度建築士定期講習

3/7、3/24　CPD各6単位
12/16、1/26、2/16、3/30　CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。
▼対面講義
日程・会場・定員
3/7（月）　大阪国際会議場10階　200名
※3/24（木）大阪国際会議場10階　200名
時間　9：15〜17：00（各講習日共）
受講料　12,980円（消費税含。事前振込）
申込方法
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。
（平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）
ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
受付場所（送付場所）
※印の日程　大阪府建築士会事務局
※印以外の日程　大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/
注）各回定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による講習会
各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式となります。
修了考査日程・会場・定員
12/16（木）大阪府建築士事務所協会　1日3回各16名
1/26（水）大阪府建築士会　1日3回各20名
2/16（水）大阪府建築士事務所協会　1日3回各16名
3/30（水）大阪府建築士会　1日3回各20名
受講料　12,980円（消費税含。事前振込）
申込方法
建築技術教育普及センターHPからWEB申込
https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/
注）定員に達し次第、受付を終了します。

既存住宅状況調査技術者講習

更新講習（DVD講習）12/22、2/15
新規・更新講習（オンライン講習）
CPD各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。
▼更新講習（DVD講習）
日時　12/22（水）、2/15（火）
13：30〜16：50
会場　本会会議室
定員　各20名（定員に達し次第締切）
受講料　郵送申込17,600円
WEB申込17,000円
▼新規・更新講習（オンライン講習）
新規講習　2月前期：2/1（火）〜2/15（火）
申込締切1/18（火）
定員　100名
更新講習　1月後期：1/16（日）〜1/31（月）
申込締切1/2（日）
定員　200名
2月前期：2/1（火）〜2/15（火）
申込締切1/18（火）
定員　200名
2月後期：2/16（水）〜2/28（月）
申込締切2/2（水）
定員　200名
受講料　新規講習21,450円
更新講習17,000円
※受講に必要なパソコンの動作環境は、日本建築士会連合会ホームページにてご確認ください。
▼申込
日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

令和3年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）
1/27、2/18、3/9　CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。
日程　1/27（木）、2/18（金）、3/9（水）
時間　8：55〜17：00
会場　本会会議室
定員　各回20名（定員に達し次第締切）
受講料　WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html

大阪府知事指定講習

2021年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》

2/17　CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。（本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。）
日時　2/17（木）　10：00〜15：50
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅　大阪メトロ「谷町四丁目」下車
定員　40名（定員になり次第締切）
受講料　本会会員5,000円
会員外9,000円
テキスト代　7,300円（2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法）
※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

はじめよう、文化財の活用

1/22、2/19

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、建物見学やワークショップ、周辺のまち歩きを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。
第4回
「能の入り口に入ろう」
一度は能を見てみたい方、実は沢山。そんな方に歴史や台詞、所作や能面等分かりやすくお話します。
日時　1/22（土）　13：00〜16：00
会場　旧羽室家住宅（国登録有形文化財）
豊中市曽根西町4-59
講師　林本大（能楽師観世流シテ方準職分）
第5回
「水引で愉しむ雛の節句」
日本の伝統の和紙と水引で雛の節句きな粉包みを作ります。水引の「あわじ梅結び」と心を贈る折形の包みをご紹介。日本古来の包み結ぶ文化を愉しんでみませんか。
日時　2/19（土）　13：30〜16：30
会場　願得寺（国登録有形文化財）
門真市御堂町8-23
講師　淵本裕子（和のコトデザイン）
定員　各24名（第4回のみ20名）
受講料　各1,500円（定員に達し次第締切）
申込方法　必要事項（名前、住所、メールアドレス、携帯番号、同伴者の名前）をheritage@aba-osakafu.or.jpへメール又は06-6943-7103へFAX。
後日、参加証のメール等予定。（集合場所など記載）
詳細は「大阪文化財ナビ」に掲載。

構造デザイナー 渡邉竜一 講演会「Beyond aesthetics」

12/10　CPD2単位（予定）

ベルギーを本拠地に橋梁デザインの第一線で活躍されるNey&Partners日本事務所代表の渡邉竜一氏を講師に迎え、新しい時代に向けた構造美を追求した新しいデザインについて講演及びディスカッションを行います。
日時　12/10（金）　14：00〜16：30
会場　大阪府建築健保会館　6階ホール
定員　70名（定員に達し次第締切）
受講料　本会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円

クラウドファンディングを活用し、本会と地域住民がまちづくり活動を応援します

12/初旬〜1/末

本会では、大阪府内で活動する建築士を含む団体の活動に対し、平成10年より地域貢献活動助成を行ってきました。本年度まで24年間にわたり合計31団体の活動に助成を実施し、大阪のまちづくり活動の活性化に貢献しています。
この度、地域のまちづくり活動を地域住民が応援するという理想の姿を目指し、クラウドファンディングによりその資金を集めることとしました。
助成に関する募集とその活動内容の審査は引き続き本会が行うこととし、本会と地域住民が協力し、大阪のまちづくり活動を応援していきます。
テーマ　（仮）コロナ禍を乗り越え頑張る大阪のまちづくりを応援したい
期間　12月初旬〜2022年1月末日
目標金額　45万円
支援金額　500円、1,000円、3,000円、10,000円
プラットフォーム　READY FOR

（All in・寄付型）
リターン　ご支援頂いた助成活動の年間活動内容を報告（予定）
※ご支援頂くに際し、「READY FOR」への登録が必要です。

建設工事の安全関係法改正のすべて!

～大阪府工事入札（実績申告型）の評価点追加対象講習会～
12/15　CPD3単位（予定）

本講習会では安全関係法令の改正点のポイントをわかりやすく解説し、設計者及び工事管理技術者等に設計～施工にわたる安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組についての講習を行います。
日時　12/15（水）　13：20～17：00
会場　大阪府建築健保会館　6階ホール
定員　70名（定員に達し次第締切）
受講料　本会会員3,000円
後援団体会員4,000円
一般5,000円

WEB配信
1970年大阪万博の情熱が蘇る

『建築士が見た太陽の塔』

12/15～1/14　CPD3単位（予定）

お待たせしました!! 9月18日に開催しました掲題のセミナーを配信いたします。1970年当時仮設建築物として建てられ、工作物として保存されていたため、人の立ち入りができなかった太陽の塔を建築物に変える前例のないプロジェクトのお話です。
配信期間　12/15（水）10：00～2022年1/14（金）16：00
定員　200名
受講料　500円
受講方法　受講料の入金確認後、視聴URLを配信します。各自、事前にパソコンの動作環境の確認を行い配信開始日までお待ちください。
申込締切　12/10（金）

聖徳太子千四百年御聖忌に寄せて

『聖徳太子と四天王寺』講演会

12/16

本会では、聖徳太子と四天王寺をテーマに全3回シリーズで講演会を企画いたしました。四天王寺は推古天皇元年に聖徳太子が建立した日本最古の官寺です。戦火や自然災害で何度も伽藍を失いながらも、聖徳太子信仰の殿堂として現在に至っています。第一回目は四天王寺の歴史と信仰についてお話頂きます。
日時　12/16（木）　14：30～16：30
会場　本会会議室
定員　20名
参加費　本会会員1,000円
会員外1,500円
講師　一本崇之
四天王寺勧学部文化財係
主任学芸員

大阪地域貢献活動センター 2022年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。
募集締切　1/31（月）
対象とする活動
原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としていない活動。
助成額　1件の助成額は30万円を限度

第65回大阪建築コンクール

1/17～31

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通して建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。
募集対象
大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門
（完了検査済証発行日で39歳以下）
両部門共建築物の用途・規模は問わない
審査員
委員長
長坂　大（京都工芸繊維大学教授）
委　員
植野甚一（大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長）
荻原廣高（神戸芸術工科大学准教授）
中嶋節子（京都大学大学院教授、本会副会長）
満田衛資（京都工芸繊維大学教授）
応募期間　1/17（月）～1/31（月）
応募資格
大阪府知事賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
渡辺節賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日に39歳以下の者
応募料　本会正会員　1作品20,000円
本会正会員外　1作品40,000円
※詳細は本号同封の第65回大阪建築コンクール応募要項をご覧ください。

事務局年末年始休暇のお知らせ

12月29日（水）から1月4日（火）まで休ませていただきます。

その他のお知らせ

日独交流160周年事業

日独「器」UTSUWAフォーラム

12/3

伝統的木造建築を世界で普及する組立型和室【器】を題材に日独の職人等のチームが語り合います。職人の技・文化が持続する社会をめざして、日独の職人、専門家などの交流・提言を目的とします。基調講演として髙田光雄氏に「日本の木造住宅とものづくり―現状と課題」をテーマに講演いただき、日独の参加メンバーのプロジェクト紹介の後パネルディスカッションを行います。リモート開催につきお気軽にご参加ください。
http://utsuwa-project.com/event.html
日時　12/3（金）　19：00～20：30
定員　100名
形態　LIVE配信+Youtube後日限定配信
参加費　無料
申込　https://utsuwa2021.peatix.com
問合　（一財）大阪地域振興調査会　上林
E-mail kambayashi@daichishin.org

第46回公開講演会（オンライン配信）

12/15

国立研究開発法人建築研究所構造研究グループの長谷川隆氏が建築基準法整備促進事業「長周期地震動に対する超高層鉄骨造の安全性検証法に関する検討」について講演されたものをオンラインで配信します。
主催　（一社）関西建築構造設計事務所協会
日時　12/15（水）　15：00～16：55
演題　長周期地震動に対する超高層鉄骨造の安全性検証法に関する検討
講師　長谷川隆研究員（国立研究開発法人建築研究所構造研究グループ）
配信方法　ZOOM（接続URLは当日の午前中にメール配信）
参加費　無料
定員　300名
申込方法　氏名、勤務先、メールアドレスをご記入のうえ、メールで送付
申込先　（一社）関西建築構造設計事務所協会
E-mail info@kse-web.com

被災建築物の応急危険度判定（養成）講習会

12/16、2/15　CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。判定士の資格をお持ちでない方はぜひ本講習会を修了され、判定士へのご登録をお願いいたします。
日程　12/16（木）、2/15（火）
時間　受付12：30～　講習13：15～17：00
会場　大阪府建築健保会館6階ホール
定員　各40～80名（新型コロナウイルス感染防止対策のため調整します）
受講資格　大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
※本講習会は応急危険度判定士に登録される方を対象としています。
受講料　無料
テキスト代　税込み1,600円（特別価格）
申込・問合　（一財）大阪建築防災センター
企画耐震部
Tel.06-6942-0190

我が町「堺」再認識

堺歴史文化景観フォーラム

2/23（水・祝）　CPD3単位（予定）

我が町「堺」には沢山の歴史文化資産があります。資産そのものとあわせてその景観は、地域の営みに関わる一人ひとりが長い歴史の中で培われ守り育まれてきたものです。その代表である世界文化遺産百舌鳥古墳群及び周辺地域と堺環濠都市地域は、古代から中世、近世、近代そして現代が重なり合う歴史文化景観として次世代に引き継ぐべきものです。そこで、世界文化遺産百舌鳥古墳群及び周辺地域と堺環濠都市地域について、大阪府立大学名誉教授増田昇氏、公益社団法人大阪府建築士会理事藤田忍氏、空間デザイナー間宮吉彦氏、堺ユネスコ協会会長川上浩氏、4名の専門家の知見から、市民の「まち」「空間」に対する意識の醸成と景観形成に向けた「取組の輪の拡大」と「景観の保全・整備の推進」を探ります。様々な参加団体の展示・紹介もあります。
日時　2/23（水・祝）　13：00～16：00
場所　フェニーチェ堺大スタジオ
定員　100名（申込先着順）
参加費　無料
申込・問合　堺ユネスコ協会事務局
Tel.072-299-2323

我が町「堺」再認識

堺歴史文化景観まち歩き

3/27　CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群について専門家と歴史文化を学び、風景を発見し、景観写真を撮影する堺歴史文化景観まち歩きを行います。
日時　3/27（日）　13：00～16：00
集合　13：00 中百舌鳥駅西側駅前広場（時間厳守）
定員　30名（申込先着順）
参加費　500円（青少年は無料15名まで）
申込期間　1/4（火）～3/11（金）
申込・問合　堺ユネスコ協会事務局
Tel.072-299-2323

記憶の建築

前川國男の戦後の活動拠点と柳宗理のアトリエ

MIDビル　一九五四年

文・写真＝松隈　洋［京都工芸繊維大学教授］

早いもので、一九八六年六月二六日に前川國男が八一歳で没してから、三五年の歳月が流れた。しかし、前川が戦後の設計活動の拠点として一九五四年に竣工させたMIDビルは、今も現役で大切に使われている。場所は、JR中央線四谷駅ほど近くの本塩町という閑静な住宅地の一角にあり、外堀通を曲がった路地の突き当たりに位置する。その手前には、四谷第三小学校、大蔵省の官舎、一八九六年の開院で夏目漱石も入院した歴史を持つ胃腸病院、敗戦直後の一九四五年十一月に創設された日米英会話学院など、落ち着いた雰囲気の街があった。だが、二〇二〇年、この街区全体を丸ごと再編する大規模な再開発によって、コモレ四谷と呼ばれる地上三十一階、高さ約一四五m、延床面積約十四万㎡の巨大な超高層の複合ビルが竣工し、街の姿は大きく変貌を遂げた。それでも、MIDビルの周囲には、往年のたたずまいがかろうじて残っている。

南側からの外観全景　一九九四年撮影
手前左に柳の愛車フォルクスワーゲン

地階アトリエの柳宗理・文子夫妻
二〇〇二年二月十三日撮影

一九三五年十月一日、前川は、銀座の教文館ビルにあったレーモンド事務所から田中誠、崎谷小三郎、寺島辛太郎の三人と独立し、近くの銀座商館に事務所を設立する。しかし、太平洋戦争末期の一九四五年五月二十五日の山の手大空襲で室内は焼失、敗戦後の事務所を、戦火を免れた品川区上大崎の木造自邸の居間に移して戦後の設計活動を再開させる。約二十畳に所員十数名が製図台を並べる不自由さの中で、木造の紀伊国屋書店や慶應病院、日本相互銀行本店や神奈川県立図書館・音楽堂など、戦後の出発点となる建築群が次々に生み出されていく。そして、敗戦から九年、MIDビルが竣工し、ようやく自らの設計活動の拠点となる場所を得た前川と所員たちは、さぞかし喜んだに違いない。この時、自社ビルという利点を最大限に活かし、鉄筋コンクリート造の柱と梁のスレンダーなラーメン・グリッドの構造体にプレキャスト・コンクリート床板を載せ、外周の腰壁には特注のコンクリート・ブロックを積み、その上にスチール・サッシュの水平連続窓を取り付けた。また、一階にはピロティを設け、二階奥の所長室を吹き抜けとするなど、ル・コルビュジエの方法を踏襲しつつ、テクニカル・アプローチの試作としたのだ。因みに、その設計は、鬼頭梓、雨宮亮平、崎谷小三郎が担当し、構造設計は、横山不学の下で木村俊彦が担当した。翌一九五五年十一月四日には、来日した師のル・コルビュジエをここに迎えることになる。こうして、前川は、亡くなる直前までの三十二年間、MIDビル三階の製図室に通い続け、自らの求める近代建築への思索を続けたのである。

さて、私事ながら、二〇〇〇年春まで前川事務所に勤務した筆者には、前川の没後、MIDビル地階にアトリエを構えていた柳宗理（一九一五～二〇一一年）氏との忘れがたい思い出がある。柳は、前川への追悼文の中で、次のように記している。

「前川先生の御名前を知ったのは、コルビュジエの「今日の装飾芸術」という前川先生翻訳の本を読んだ時である。この本は装飾のない所に今日の装飾があるという本で、若い頃の私の血潮を沸きたたせた本である。」（柳宗理「前川先生の思い出」『追悼 前川國男』一九八七年）

こう記されたように、柳は、ル・コルビュジエ著・前川國男訳『今日の装飾芸術』（構成社書房一九三〇年）の初版本を手づくりのブック・カバーをかけて大切に保管していた。ある時、この本を筆者に貸して下さったのだ。『建築の前夜 前川國男文集』（而立書房一九九六年）の編集を進めていた頃だったと記憶する。その後、一九九八年に、池袋のセゾン美術館で「柳宗理のデザイン」展が開催された際には、展評（『新建築住宅特集』一九九八年六月号）を執筆する機会もあり、それ以来、急速に親しく接する機会に恵まれることになる。その間、ペリアン、坂倉準三、吉阪隆正のことなど、本当にたくさんのことを教えていただいた。中でも印象に残ったのは、戦時下の国策によるフィリピンの日本文化会館の建設で現地滞在中に戦渦に巻き込まれ、最後はもう駄目だと思って、肌身離さず持ち歩いていたル・コルビュジエの『輝く都市』をジャングルの地中に埋め、捕虜になって帰国した壮絶な戦争体験の話である。「たくさんの坂倉事務所の所員が死んでしまったんだよ」と語られた。それほどまでにル・コルビュジエに心酔していたからこそ、一九五五年の来日でMIDビルを訪れた彼を、前川が地階のアトリエに案内した際、突然目の前に現れたその姿に驚嘆し、湯を沸かしていたヤカンをひっくり返し、湯気で濛々となったという。そんな話をお聞きした柳さんに、一度だけ喜んでもらえる機会があった。たまたま見ていた『Le Corbusier Sketchbooks Volume4』（The MIT Press 一九八二年）の中に、何と、代表作であるパタフライ・チェアーを描いたスケッチを見つけたのだ。一九五九年十一月、弟子のホセ・ルイ・セルトのボストンの自邸を訪れた際のものである。これをお見せした時の破顔が忘れられない。

前川追悼文の続きには、MIDビルについて、次のように記されている。

「新しい事務所はピロッティ形式で、（中略）そのモダンな姿はなかなか素敵なデザインであった。（中略）長い間お付き合いさせて頂いたお陰で、この建物が建つと同時に地下をお借りして私の事務所とした。私もその頃は若くてしばしば徹夜をして仕事をしていたが、その時前川先生は窓からのぞいて、「おい柳、まだやっているのか。体に気をつけろよ。」と度々声をかけて下さった。」

こうした前川と柳さんとのつながりが、筆者にも幸いしていたことを今になって想う。このMIDビルには、そんな歴史も刻まれている。

SANEI

SANEI 株式会社
www.sanei.ltd

和室からリビング・東庭を見る

和室南側坪庭を見る